



福井市水道事業ビジョン 2020

【概要版】

「信頼に応える水づくり」
～安全で安心な水道を次の100年のために～



1 水道事業ビジョンの策定にあたって

◎策定の趣旨

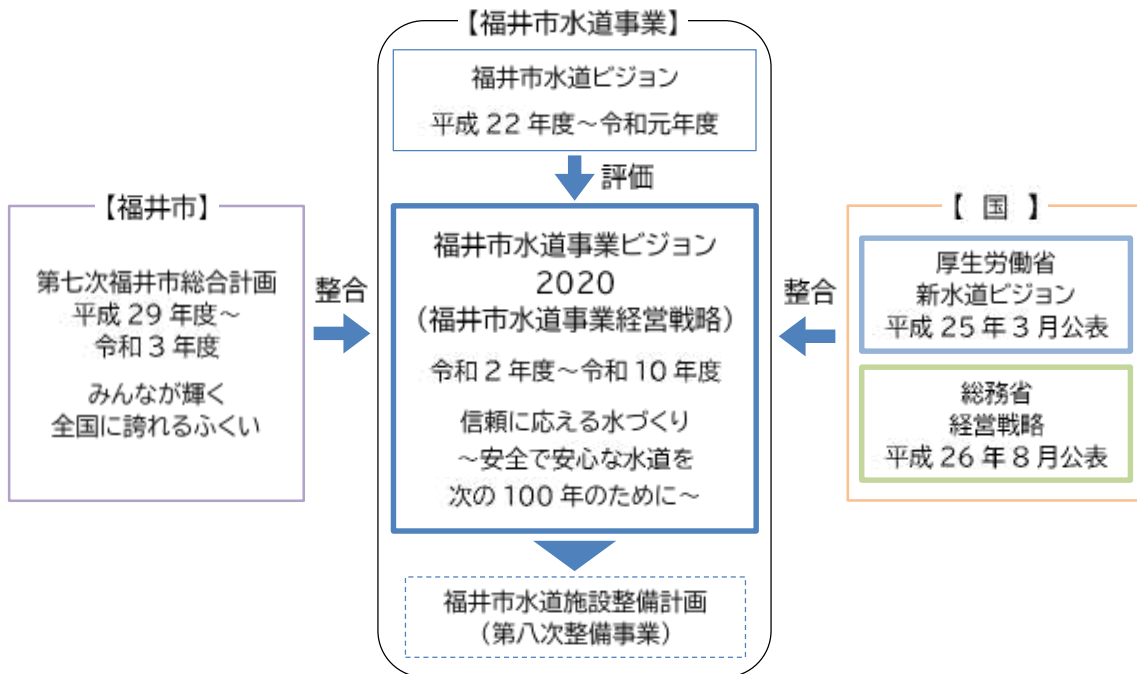
本市の水道事業は、人口減少や節水機器の普及により水需要が減少し続ける一方、高度成長期に整備した水道施設の多くが一斉に更新時期を迎え、水道事業を取りまく環境はこれまで以上に厳しいものになると予測されています。また、大地震や豪雨などに対する災害対策の見直しも必要となっています。

このようなことから、今後も、信頼に応える水づくりを進めていくための指針となる「福井市水道事業ビジョン 2020」を策定し、将来にわたって安全で安心な水道水を供給し続けていきます。

◎計画期間及び位置付け

計画期間	令和 2(2020)年度～令和 10(2028)年度
------	----------------------------

福井市水道事業ビジョン 2020 の位置付け



2 水道事業の現状と今後の取組の方向性

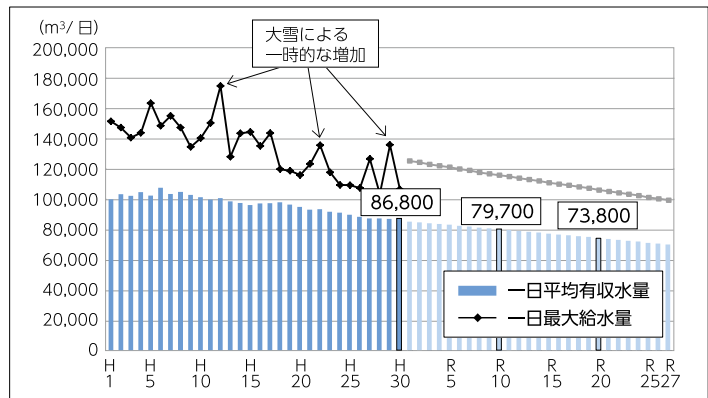
水道事業を取り巻く環境の変化

◎給水量の減少と頻発する大規模災害

給水量は、給水人口の減少や節水機器の普及などにより、平成 30(2018)年度と比べ、令和 10(2028)年度には 8%、令和 20 (2038)年度には 15%減少する見込みです。

また、これまでの想定を上回る大規模な災害が全国的に頻発し、広域かつ長期間の断水被害が生じています。

給水量の見通し



水道事業の課題と今後の取組の方向性

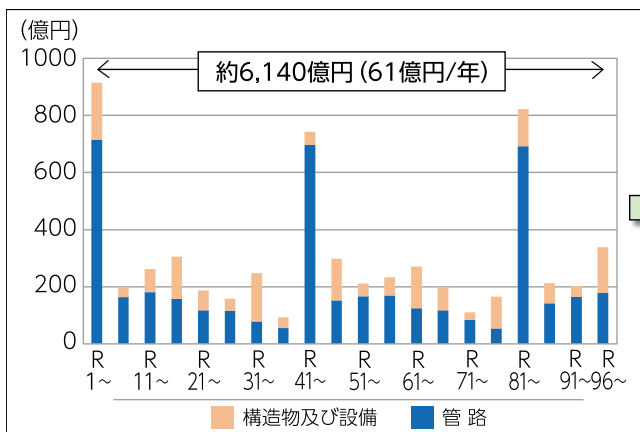
◎水道施設の老朽化と事業費の増大

平成30(2018)年度末時点で、本市の水道施設のうち、構造物及び設備の33%、水道管の32%が法定耐用年数を超えています。

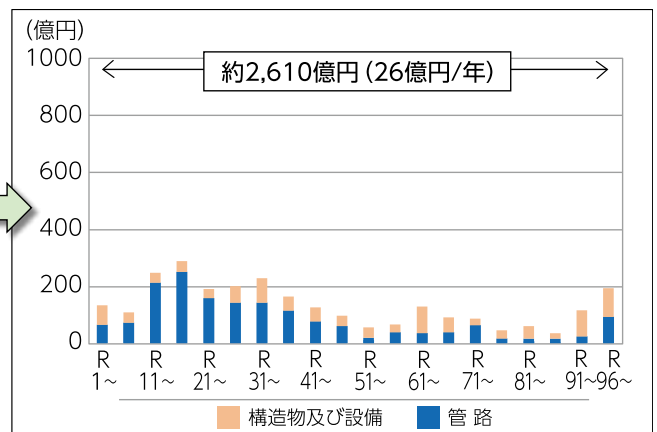
水道施設を法定耐用年数で更新した場合、現在の事業費の約3倍にあたる年平均61億円の事業費が必要となりますが、更新基準の見直しと水道施設の統廃合による投資の合理化により、年平均26億円まで縮減することができます。それでも、将来的には財源の確保がさらに難しくなります。

今後は、水需要の減少にあわせた施設や水道管のダウンサイジングなどにより事業費をさらに抑制し、重要度の高い施設は、更新時期を前倒しするなど事業費の平準化を図る必要があります。

法定耐用年数で更新した場合の事業費
(構造物及び設備と管路の合計)



投資の合理化を考慮した場合の事業費
(構造物及び設備と管路の合計)



➡ ダウンサイジングなどによる事業費の抑制と平準化



◎水道施設の耐震化の遅れ

平成30(2018)年度の水道施設の耐震化率

	福井市	福井県平均	全国平均
浄水施設の耐震化	8.6%	26.5%	30.6%
配水池の耐震化	37.5%	47.3%	56.9%
基幹管路の耐震化	31.8%	37.1%	40.3%

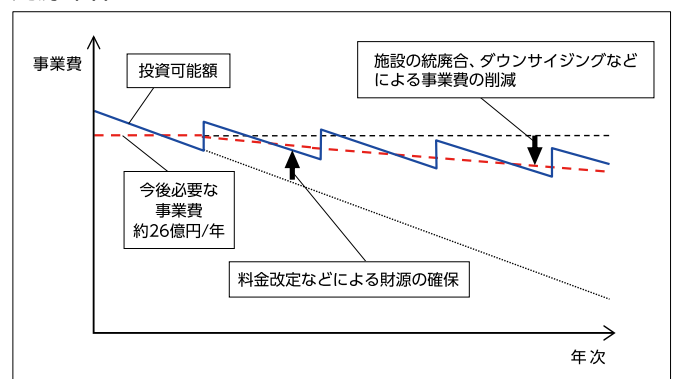
➡ 水道施設の耐震化の推進



◎料金収入の減少

水道施設の更新や耐震化を計画的に進めていくためには、水道施設の統廃合やダウンサイジングなどにより事業費の縮減を図るとともに、定期的な水道料金水準の検証を行い適正な料金水準とすることで、財源を確保する必要があります。

財源確保のイメージ



➡ 安定的な財源の確保



◎人的資源の不足

本市の水道事業の職員数は、民間委託や人員配置の見直しなどの経営の効率化を図った結果、平成20(2008)年度から平成30(2018)年度までで約3割減少となっています。また、水道事業の経験年数が長い職員や、高い技術力を有する職員の高齢化や退職により、技術の継承も大きな課題となっています。

今後、水道施設の大規模な更新を予定していることから、確実な事業実施に向けて適正な人員配置と技術の継承が重要となります。



技術の継承と人材の確保



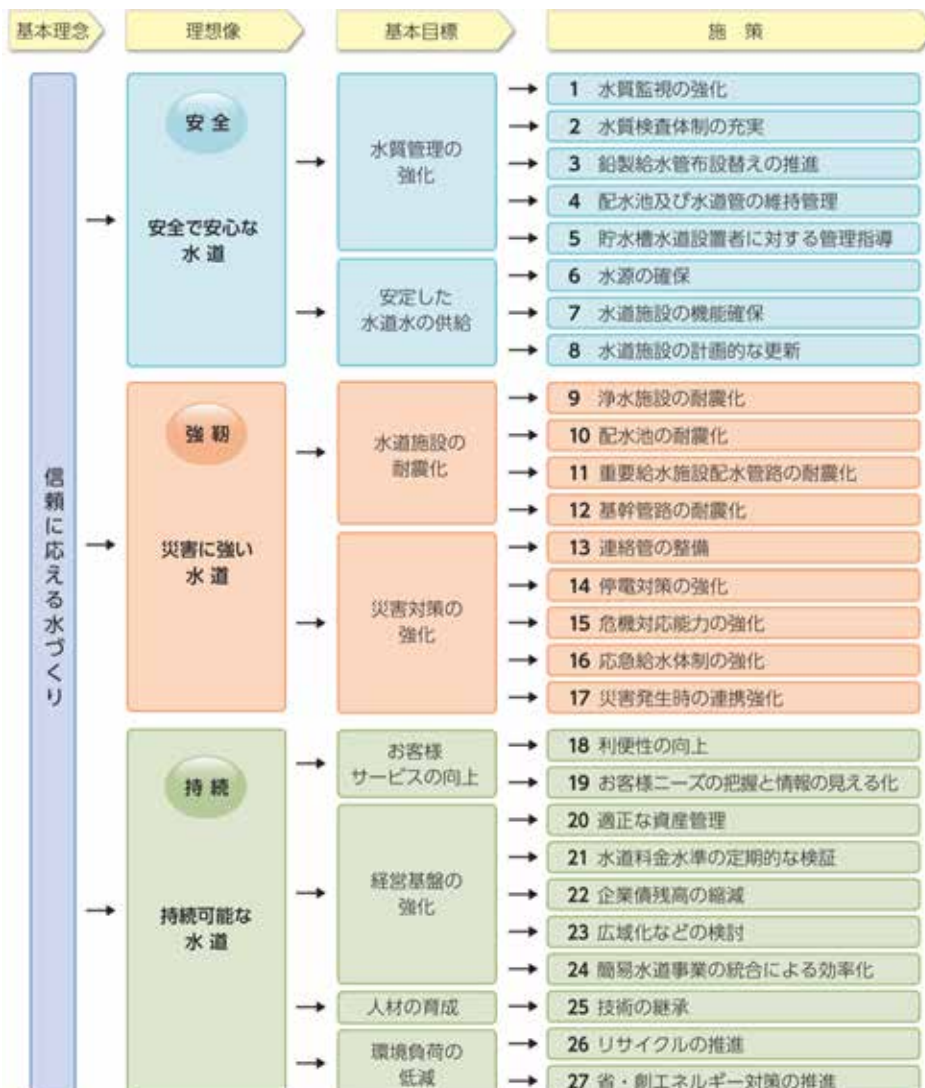
3 基本理念と理想像

安全で安心な水道水を安定的に供給し、重要なライフラインである水道を次の世代へ確実に引き継ぐ必要があり、さらに50年、100年先を見据えた事業を展開していくため、基本理念を以下のように設定します。

基本理念	<h3>信頼に応える水づくり</h3> <p>～安全で安心な水道を次の100年のために～</p>
------	--

4 施策と具体的な取組

◎施策体系



5 投資・財政計画

◎投資計画

— : 構造物及び設備
— : 管路

理想像	事業内容	前期			中期			後期			計 (億円)
		R2(2020)~R4(2022)	R5(2023)~R7(2025)	R8(2026)~R10(2028)	R2(2020)~R4(2022)	R5(2023)~R7(2025)	R8(2026)~R10(2028)	R2(2020)~R4(2022)	R5(2023)~R7(2025)	R8(2026)~R10(2028)	
安全	九頭竜第2電気設備更新及び中央監視システム更新										12.6
	九頭竜浄水場紫外線処理設備設置										5.5
強靱	九頭竜原目送水管更新										6.4
	九頭竜浄水場森田浄水場間相互連絡管										8.3
	原目配水池更新										22.3
	田治島水系導水管更新										3.5
	福井西配水ブロック配水管布設										9.6
	川西揚水ポンプ所築造										4.8
	九頭竜浄水場浄水施設更新(着水井~浄水池)										45.1
	足羽山揚水ポンプ所更新及び足羽山配水池更新										4.1
	耐震化工事(重要給水施設、基幹管路等)										30.0
	老朽管更新										75.4
	持続	一本木浄水場廃止									廃止
川西浄水場廃止										廃止	
	事務費等										10.4
	計										238.0
	浄水施設の耐震化率(%)		8.6		8.6		91.5				
	配水池の耐震化率(%)		38.8		53.0		57.5				
	基幹管路の耐震化率(%)		37.5		43.7		50.6				

◎財政計画

(億円)

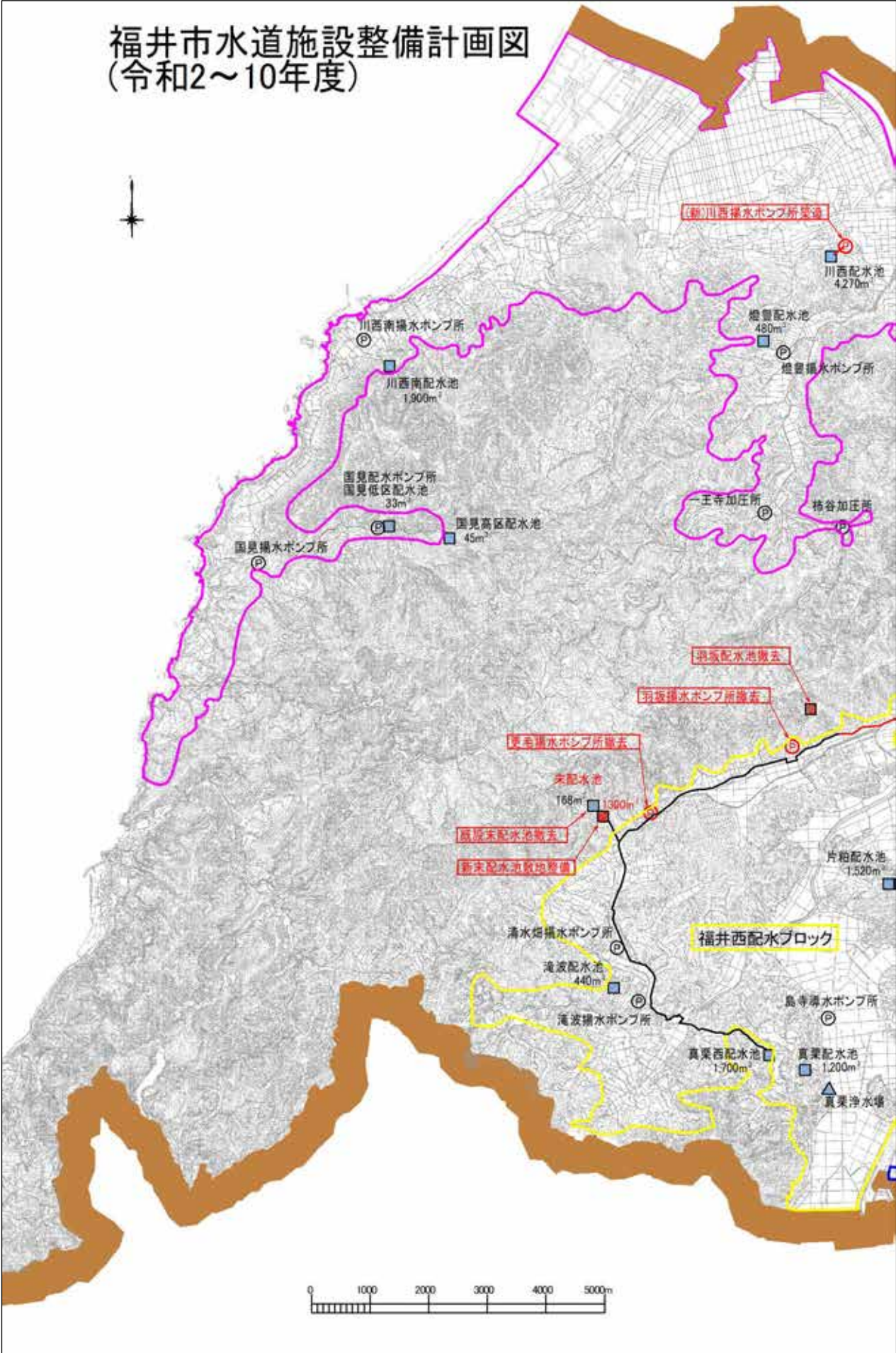
年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
収益的収入	53.0	48.5	47.8	47.1	46.5	45.6	45.0	44.2	43.5	42.7
料金収入	46.0	41.5	40.8	40.1	39.5	38.6	38.1	37.4	36.7	36.0
その他	7.0	7.0	7.0	7.1	7.0	7.0	6.9	6.9	6.9	6.7
収益的支出	40.4	38.8	39.9	38.8	38.8	39.1	42.1	40.7	41.8	44.5
経費	19.4	20.0	20.1	20.1	20.0	20.1	20.2	20.3	20.2	20.7
減価償却費・支払利息	21.0	18.8	19.7	18.6	18.8	19.0	21.8	20.4	21.5	23.8
当年度純利益(又は純損失)	12.6	9.7	7.9	8.3	7.6	6.5	2.9	3.5	1.8	△ 1.8
資本的収入	10.0	9.0	9.8	8.2	10.1	10.0	9.9	8.9	8.8	6.8
企業債	6.0	7.0	7.0	7.0	9.0	9.0	9.0	8.0	8.0	6.0
その他	4.0	2.0	2.8	1.2	1.1	1.0	0.9	0.9	0.8	0.8
資本的支出	30.3	32.8	32.1	33.7	38.2	37.0	43.6	38.2	36.4	31.9
建設改良費	20.5	22.6	21.6	23.3	27.7	27.2	34.2	29.2	27.8	24.4
企業債償還金	9.8	10.2	10.4	10.4	10.5	9.9	9.3	9.0	8.6	7.5
資本的収支不足額	△ 20.3	△ 23.8	△ 22.3	△ 25.5	△ 28.1	△ 27.0	△ 33.6	△ 29.4	△ 27.6	△ 25.1
補填財源残高	18.1	22.7	25.8	24.4	21.4	19.1	12.7	5.1	1.0	△ 1.4
企業債残高	139.6	136.4	132.9	129.5	128.1	127.2	126.9	125.9	125.3	123.8

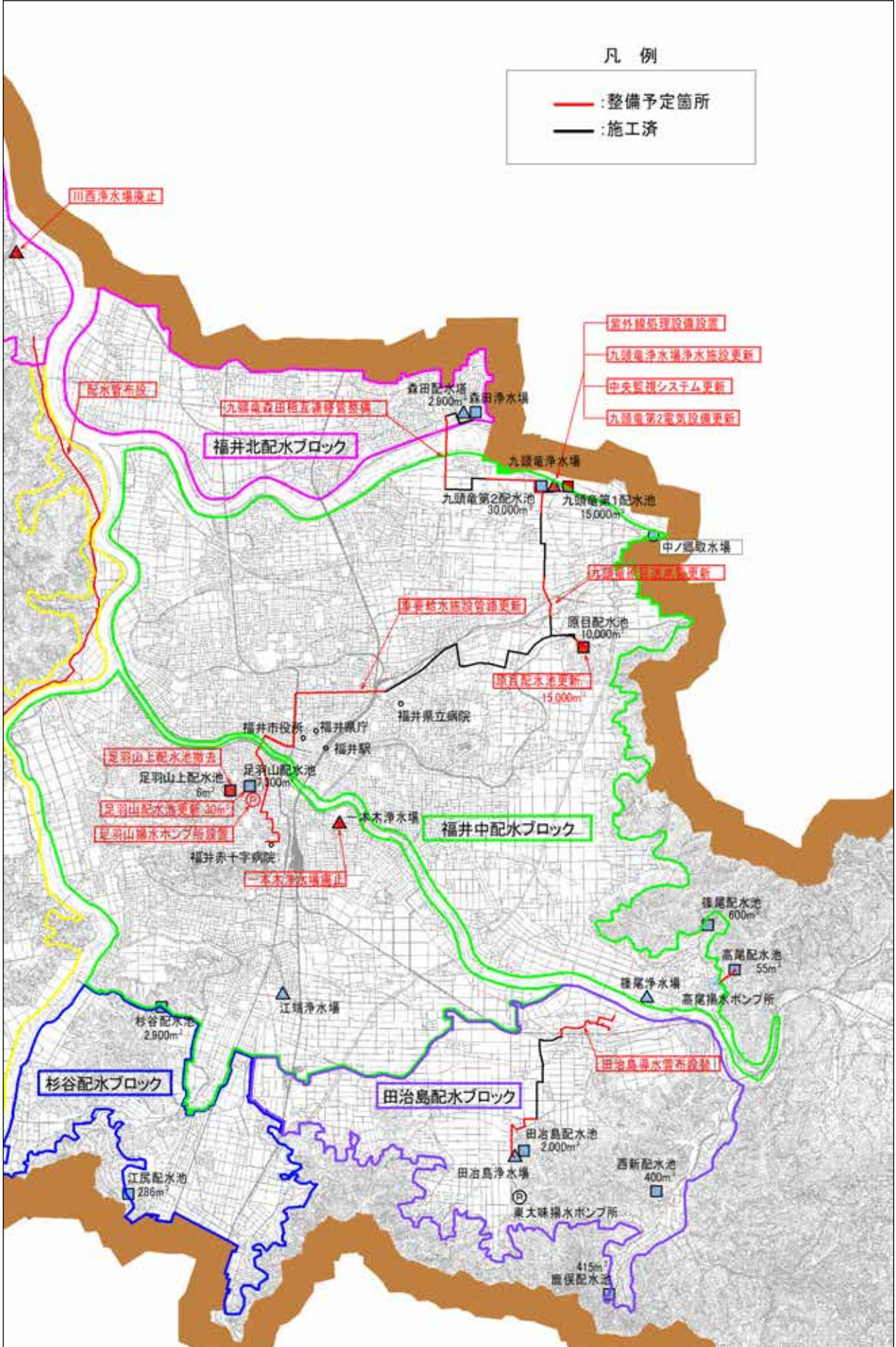
施策を着実に進めるためには、一定程度の補填財源を確保しておく必要があるため、計画期間の中頃までに料金水準の検討が必要となってきます。

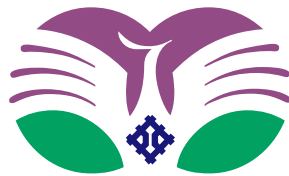
6 フォローアップ

それぞれの施策が最大限の効果を上げることができるよう、毎年、数値目標などによる事業の検証や評価を行い、計画期間の中間点となる令和6(2024)年度を目処に達成度の評価や見直しを行います。

7 事業計画図







福井市水道事業ビジョン 2020【概要版】

令和2(2020)年度～令和10(2028)年度

策 定 令和2(2020)年3月

編 集 福井市 企業局 ガス・水道整備課

住 所 〒910-8522 福井市大手3丁目13番1号

T E L 0776-20-5640

F A X 0776-20-5629